

授業・単元づくり編 「学習指導案の書き方」

独立行政法人教職員支援機構

チーフ研修プロデューサー 新名主 洋一



独立行政法人教職員支援機構

「学習指導案」とは

何ができるようになるか
(めざす資質能力)

児童の実態



学習指導案



教材研究



学びの地図

何を学ぶか
(学習内容)

どのように学ぶか
(学習方法)

授業研究 = 教育活動を振り返る (リフレクション) = 指導力の向上

学習指導案の項目

- 1 単元名
- 2 単元設定の理由
 - (1) 教材について
 - (2) 児童について
 - (3) 指導について
- 3 単元の目標
- 4 単元の評価規準
- 5 単元の指導計画
- 6 本時案
 - (1) 本時のねらい
 - (2) 本時の評価規準
 - (3) 展開

社会科学習指導案
3年2組 36名 指導者 新名主 洋一

7 本時 (9時)
(1) 目標 地域の...
(2) 評価規準 地域...
(3) 指導に...
(4) 本時の...
つかむ・見出す

6 単元の指導計画 (総時数1)

過程	つかむ・見出す	調べる	まとめる・いかす
1 事故や事件の種類 警察は、事故や事件が起きているの	【思・判・表】 事件	3 学習計画にそつ (1) 追究したい事 各種資料) (2) 調べたこと 【知・技】 事故 子を知る ための	4 調べたことを 安全を守るた ための活動が行 【知・技】 事故 している
2 学習問題について ◎ 事故や事件が起 ◎ 安全を守るた 事故や事件の発 生想をもとに学	【思・判・表】 警察 全な	5 安全を守るた め ・ 自転車の乗り ・ 安全な遊び方 【主体的に学習に取 り組	5 安全を守るた め ・ 自転車の乗り ・ 安全な遊び方 【主体的に学習に取 り組
3 学習計画にそつ (1) 追究したい事 各種資料) (2) 調べたこと 【知・技】 事故 子を知る ための	【思・判・表】 警察 全な	5 安全を守るた め ・ 自転車の乗り ・ 安全な遊び方 【主体的に学習に取 り組	5 安全を守るた め ・ 自転車の乗り ・ 安全な遊び方 【主体的に学習に取 り組
4 調べたことを 安全を守るた ための活動が行 【知・技】 事故 している	【思・判・表】 警察 全な	5 安全を守るた め ・ 自転車の乗り ・ 安全な遊び方 【主体的に学習に取 り組	5 安全を守るた め ・ 自転車の乗り ・ 安全な遊び方 【主体的に学習に取 り組

8 本時の学習について振り返り、次時の学習について確
認する。
(・わたしたちにはできることはないかな。)

考えさせる。
・ うまくまとめられない子
どもには、各機関の取組のつな
がりを再度確認させる。

社会科学習指導案
3年2組 36名 指導者 新名主 洋一

1 小単元 事故や事件からくらしを守る (大単元 1 くらしを守る)

2 目標
事故や事件から地域の安全を守る活動に従事する人々の工夫や努力を知るとともに、関係機関と緊急事態に備えた連絡・活動の仕組みについて理解し、社会の一員として、協力できることに取り組もうとする。

3 小単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
施設・設備の配置、警察署による緊急時への備えや対応について見学・調査したり資料で調べたりして、関係機関が地域の人々と協力して事故などの防止に努めていることを理解している。	連携・協力している関係機関の働きを比較・分類、または結び付けて、相互の関連や従事する人々の働きを考え、適切に表現している。	学習したことをもとに、地域や自分自身の安全を守るために自分たちができることを考えようとしている。

4 小単元の構造について (概念構造図) ※○数字は時

(区別) 区別活動	(区別) 区別活動	(区別) 区別活動
関係機関と地域の協力や安全を確保、緊急時にも対応できる体制をつくるべき。①	事故や事件が発生すると、通信指令室から関係機関へ連絡が回り、互いに協力して対応している。②	・110番 ・通報 ・指令 ・通信指令室 ・パトカー ・夜急車 ・ヘリコプター
警察や関係機関が連携して、事故の防止や緊急に処する体制をとっており、地域の人々も安全なまちづくりに協力している。③	警察官は、安全を守るために様々な活動を行っている。④	・交通指導 ・パトロール ・聞き込み ・逮捕
身の回りには、事故や事件から安全を守るための設備がある。⑤	地域の人も、安全なまちづくりのために協力している。⑥	・交通規制 ・センター ・信号機 ・カメラ ・車両感知板 ・交通安全員
警察や関係機関が連携して、事故の防止や緊急に処する体制をとっており、地域の人々も安全なまちづくりに協力している。③	身の回りには、事故や事件から安全を守るための設備がある。⑤	・110番の家 ・P.T.A ・青パト ・防犯カメラ ・町内会 ・通学保護員

5 小単元について
(1) 小単元の価値
本小単元は、学習指導要領の第3学年の目標および内容の2-(3)を達成することをねらいとして設定した。ここでは、人々の安全を守るために、警察などの関係機関が平素から事故や事件の防止に努めるとともに、緊急時に対応するために日頃から準備をし、緊急時には関係機関が連携して対応していること、また、地域の人々も協力して、安全なまちづくりを行っていることを理解し、社会の一員として積極的に協力しようという意欲を育てることを目標としている。
鹿児島県の交通事故発生件数や刑法犯認知件数は年々減少している。この原因の一つが、警察の日常的な取組である。鹿児島県警は新「あんしん・かごしま」創設プログラムを策定し、具体的な行動計画を掲げている。このような警察の取組を調べることで、事故防止のための日常的な取組や緊急事態に対する備え、事故や事件が発生した際の組織的な対応について学習することができる。また、もう一つの原因が、地域全体で安全を守ろうという取組である。鹿児島県では「犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」を、また、鹿児島市は「鹿児島市安心安全まちづくり条例」を制定し、地域全体で安全を守ろうという意識を高め、地域の安全活動を支援している。このような地域の取組を調べることで、自分も地域社会の一員として自分の安全は自分で守ることが大切であるという意欲を育てたい。
(2) 子どもの実態
本小単元で扱う警察については、校区内に交番があり、実際に事故の現場で働く警察官の姿を見たことがある子どももあり、ある程度、その働きについては知っている子どもも多い。しかし、事故や事件が起きた際の連携や事故防止の取組、また、地域における安全に対する取組については、普段は見えにくい活動であ

単元名

「単元」とは

「教材や学習活動を主題ごとに関連をもたせ、一定の教育目的のためにひとまとめにされた学習計画」

単元名 → 年間指導計画や教科書に記載されている
単元名を記入

(例)

国語：単元名 新聞のとくちょうと作り方を知ろう「新聞を作ろう」

道徳：主題名 友達のことを思う（資料名「ぼくらだってオーケストラ」）

特別活動：題材 たべよう やさい（学級活動（2）－キ）

↑ 学習指導要領との関連

単元設定の理由

- (1) 教材について
 - ・何を学ぶのか（内容）
 - ・何ができるようになるのか（資質・能力）
 - (2) 児童について
 - ・当該教科、日常の学習の児童の実態
 - ・これまでの学習履歴
 - (3) 指導について
 - ・どのように学ばせていくか（指導方法）
-

教材研究

単元の目標

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか。

学びに向かう力・人間性等

単元の目標

知識・技能

何を理解しているか。
何ができるか。

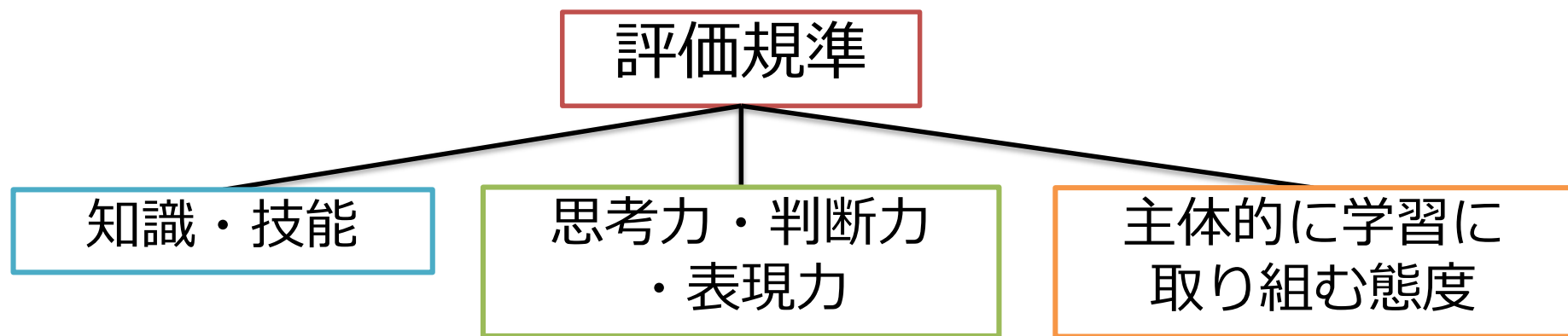
思考力・判断力・表現力等

理解していること・できる
ことをどう使うか。

(例) 社会科「事故や事件からくらしを守る」

事故や事件から地域の人々の安全を守る活動に従事する人々の工夫や努力を知るとともに、 関係諸機関と緊急事態に備えた連絡・活動の仕組みについて理解し、 社会の一員として、自分たちにできることを考えようとする態度を養う。

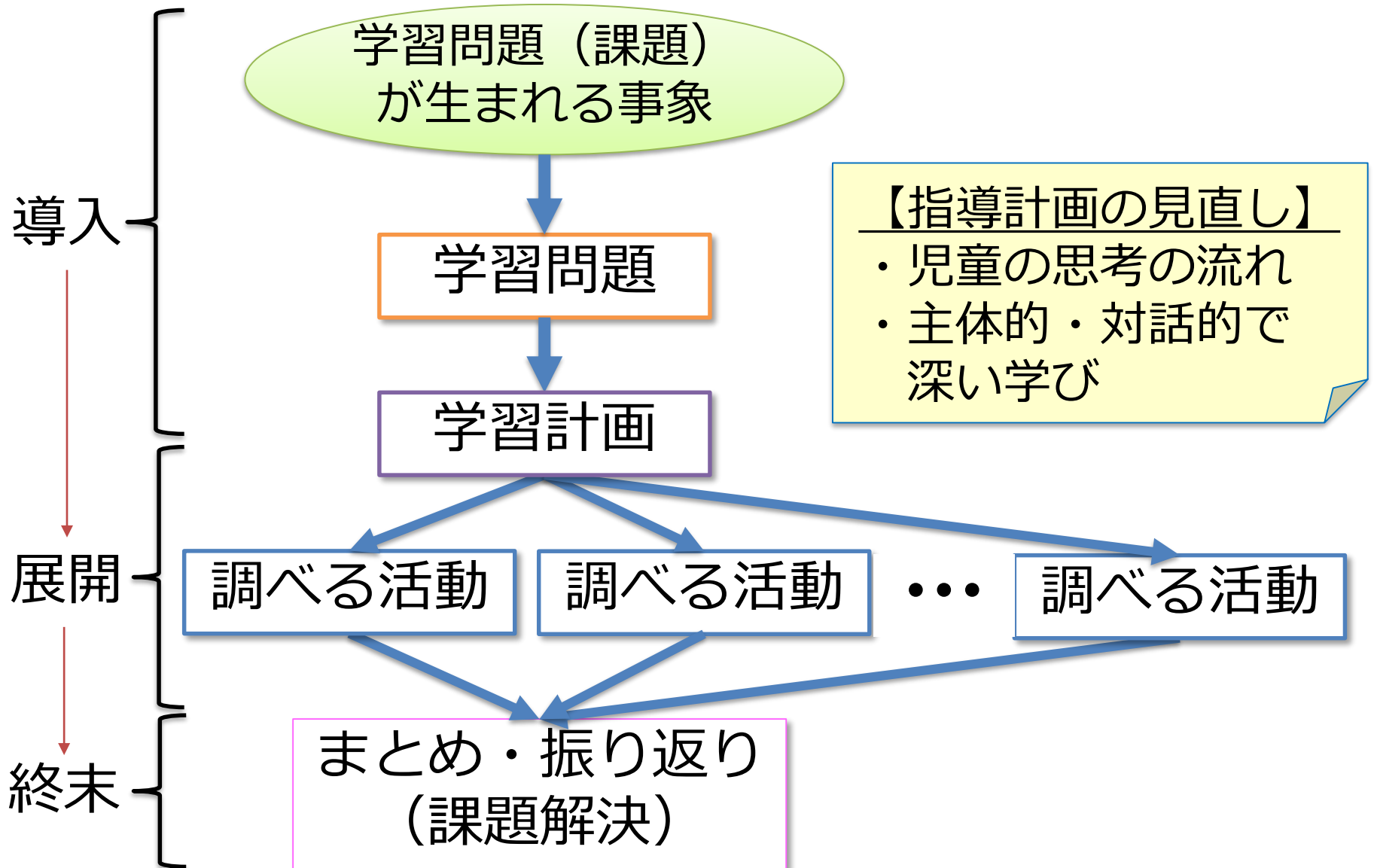
単元の評価基準



(例) 社会科「事故や事件からくらしを守る」

知識・技能	思考力・判断力 ・表現力等	主体的に学習に 取り組む態度
施設・設備の配置、警察署による緊急時への備えや対応について見学・調査したり資料で調べたりして、関係機関が地域の人々と協力して事故などの防止に努めていることを理解している。	連携・協力している関係機関の働きを比較・分類、または結び付けて、相互の関連や従事する人々の働きを考え、適切に表現している。	学習したことをもとに、地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えようとしている。

単元指導計画



単元の指導計画

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
いらし・見出す	<p>1 事故や事件の様子や発生件数のグラフを見て、学習問題をつくりあげる。</p> <p>警察は、事故や事件から私たちをどのように守っているのだろう。また、なぜ事故や事件が減っているのだろう。</p> <p>【思・判・表】 事故や事件から人々の安全を守る諸活動に関心をもち、安全を守るための体制や施設・設備などから、学習問題について考えている。</p> <p>2 学習問題について予想し、学習計画を立てる。</p> <p>◎ 事故や事件が起こった際の対応について ◎ 事故や事件から守るための取組について ◎ 安全を守るための施設について ◎ 県や市、地域の取組について</p> <p>事故や事件の発生件数、またその推移のグラフから、子どもたちの疑問や予想をもとに学習計画を立てる。</p>	1
	調べる	<p>3 学習計画にそって、資料をもとに個人やグループで調べ、全体で話し合う。(ジグソー学習)</p> <p>(1) 追究したい課題についてそれぞれ調べ、グループで交流する。(見学、インタビュー、各種資料)</p> <p>(2) 調べたことを発表し、全体で話し合う。</p> <p>【知・技】 事故や事件から地域の人々を守るための施設・設備、地域の人々の協力の様子を観点に基づいて調査・見学したり、資料を活用したりして、安全な生活のための活動について必要な情報を集めている。</p> <p>【思・判・表】 警察など関係機関の働きや地域の人々の工夫や努力によって地域の人々の安全な生活が守られていることを考え、考えたことを適切に表現している。</p> <p>見学活動やインタビューを取り入れ、事故や事件からくらしを守る仕事に携わる人々の工夫や苦労について実感をもって捉えられるようにする。</p>
まとめる・いかす	<p>4 調べたことをもとに、学習問題についてまとめる。</p> <p>安全を守るため、様々な機関が連携して、事故や事件からわたしたちの暮らしを守るための活動が行われているから、事故や事件が減っている。</p> <p>【知・技】 事故や事件から地域の人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を理解している。</p> <p>5 安全を守るために自分のできることを考え、「私の安全宣言」をつくりあげる。</p> <p>・ 自転車の乗り方について ・ 横断歩道の渡り方について ・ 安全な遊び方について ・ 地域の危険箇所について</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 これまで学習したことをもとに、安全を守るために自分のできることを考える。</p> <p>学習したことを基に根拠を明らかにさせ、安全を守るためにこれからの生活の中で自分ができることについて考えさせる。</p>	1 (本時) 1

(例) 社会科

「事故や事件からくらしを守る」

児童と教材との出会い

児童の疑問や気づきをもとに学習計画を立てる。

児童が主体的に調べられるように

調べたことをまとめる活動

学習したことをいかす活動

本時案

(1) 本時の目標（ねらい）→本時で育成する資質・能力について

地域の安全を守るために、警察を中心に多くの機関や人々が連携しながら様々な取組を行っていることを知り、それによって地域の安全が守られていることを理解できるようにする。

(2) 本時の評価規準

- ・「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」
「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から1 or 2つ

地域の安全を守るために、多くの機関や人々が連携しながら様々な取組を行っていることを知り、それによって、事故や事件が減ってきていることを理解することができる。【知識・理解】

(3) 展開

- ・「導入→展開→終末」の流れ
- ・導入：子供の疑問・気付き→学習問題
- ・展開：学習問題を解決する活動
- ・終末：学習問題に対するこたえ
本時の学習の振り返り

【本事案の見直し】

- ・児童の思考の流れ
- ・主体的・対話的で
深い学び 等

本時案

過程	時間	主な学習活動と子どもの意識	教師の手立て(※:評価)
つかむ・見通す	10	1 これまで調べてきたことを振り返る。 ・警察は、パトロールなど防犯活動や安全運動をしていた。 ・標識やカラー舗装など、施設や設備の工夫があった。 ・県や市も、条例をつくるなど、多くの取組をしていた。 ・働いている人は、それぞれ思いをもって活動されていたね。	・後半で、それぞれのつながりについて捉えさせるため、事前にこれまで学習した各機関の取組について、板書しておく。 ・学習問題を再確認させ、本時のねらいを捉えさせる。
調べる	25	2 学習計画をもとに、本時のめあてを確認する。 なぜ、事故や事件が減っているのだろう。	・地域の取組について、地域のことを調べた子どもたちを中心に発表させる。 ◎ワークシート ・取組や気持ちの共通点やつながりについて考えさせることで、地域の協力体制に気付かせる。 ・まず一人で考えさせ、その後、グループで気付いたことを話し合わせる。それをもとに本時のまとめ文を書かせることで、考えを再構成させる。 ◎警察官へのインタビューVTR
		3 地域の人々が行っている活動とその思いを確認する。 ・通学保護員の方は、私たちが安全に登校できるように、安全を見守ってくれている。 ・スクールガードの皆さんは、下校の時もいらっしゃるよ。 ・子ども110番の家の方は、何かあったときのために110番の家を引き受けたそうだよ。 ・PTAのお母さんたちが、見回りをされている。 ・学校では、スクールゾーン委員会というものもあるよ。	
まとめる・いかす	10	4 これまで調べてきて、気付いたことを考える。 ・施設は、県や市と警察が協力していたよ。 ・スクールガードは、市の取組だから、地域とつながっているね。	※ 安全を守るために各機関が連携して様々な活動を行っていることを理解し、まとめることができたか。(ノート、発言) ・次時、意欲をもたせて授業を終わる。
		5 気付いたことを、グループで話し合う。 ・取組は、つながっているみたいだね。 ・気持ちも似たようなものが多いね。 ・協力するから、安全・安心を守ることができるんだね。	
		6 話し合ったことを発表する。 ・地域の方も警察の方も、安全を守りたいという思いが一緒だ。 ・みんなで安全を守っていくことが大切なんだね。	
		7 それぞれまとめを書き、本時の学習について全体でまとめる。 地域の安全を守るために、多くの機関や人々が連携しながら様々な取組を行っているから、事故や事件が減ってきている。	
		8 本時の学習について振り返り、次時の学習について確認する。 ・わたしたちにできることはないかな。 ・どんなことができるだろう。	

本時の学習に対する意欲付け

学習問題の確認

学習問題を解決する活動

評価

まとめる活動

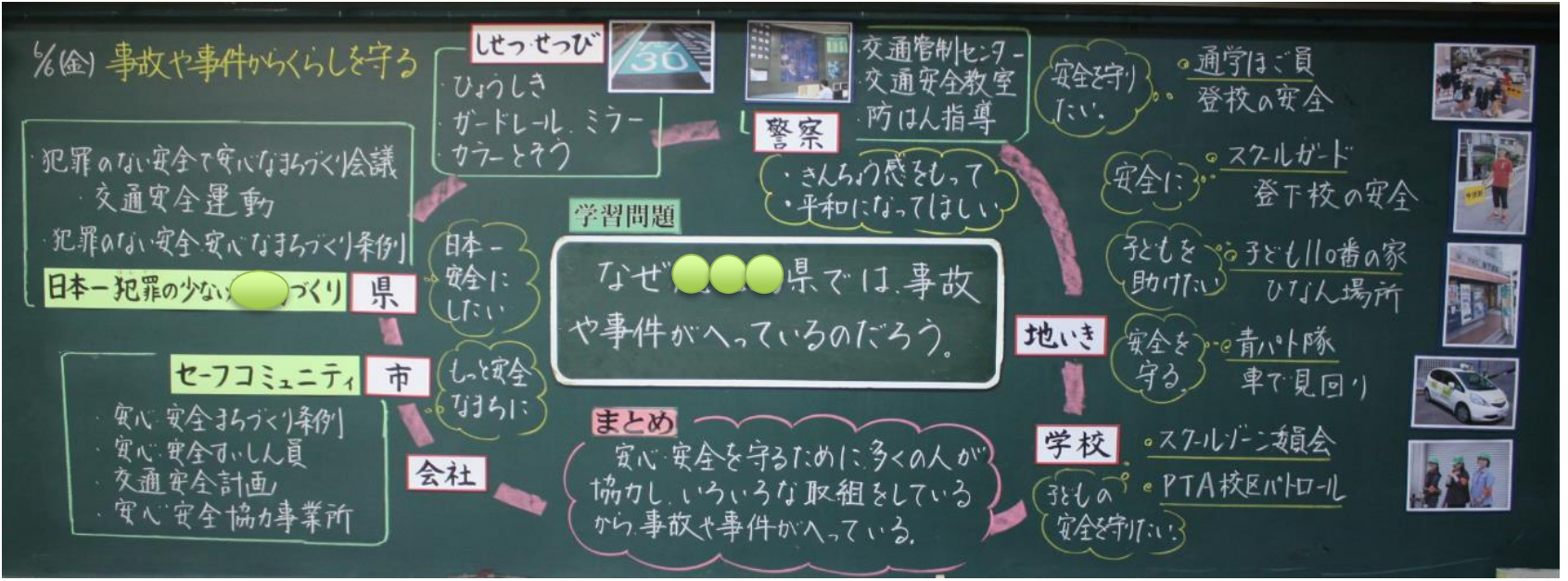
発問計画

発問計画		
(授業前) → 板書を構成		
時間	発問・反応	留意点 他
9:00	<p>皆さんは、「なぜ、鹿児島県は事故や事件が減っているのだろうか。」という学習問題2をつくりあげて、追究の柱毎に調べてきましたよね。どんな追究の柱がありましたか？ →「県、市、施設・設備、警察、地域」</p> <p>そうでしたね。そして、前の時間までに、みんな確認したのが、警察と・・・ →施設・設備、県、市</p> <p>そうでしたね。(カーテン開ける)それぞれ、こんな取組をしましたね。 (それぞれについて、少し補足)</p> <p>① 施設・設備 ② 警察 → 永倉さんと田中さんに聞いた気持ちも ③ 県 → 条例を確認。「<u>テーマ</u>」を確認 「日本一犯罪の少ない鹿児島づくり」 ④ 市 → 条例を確認。「<u>登録めざしている制度</u>」を確認 「セーフコミュニティ」</p>	<p>(←つぶやき)</p> <p>→左右カーテンを開ける。</p> <p>→色画用紙貼る</p> <p>→色画用紙</p>
9:10	<p>さあ、今日は、残った一つ、「地域」の取組について、まず確認をしていくんでしたよね。では、地域では、どんな取組をしましたか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学保護員 <ul style="list-style-type: none"> →登校の見守り ・スクールガード <ul style="list-style-type: none"> →登下校の見守り ・110番の家 <ul style="list-style-type: none"> →ひなん場所 ・スクールゾーン委員会 <ul style="list-style-type: none"> →登下校の道は安全か ・PTA <ul style="list-style-type: none"> →子どもの安全を見守る 	<p>PTA校区内補導(月1) スクールゾーン委員会(年2回) 1回目6/10(火)</p> <p>→それぞれ、写真を掲示</p>
9:24	<p>地域や学校では、こんな取組をしているんですね。</p> <p>では、今まで、追究の柱毎にそれぞれの取組、そして、そのお仕事をされている方のお気持ちを調べてきました。これまで調べてきて、何か、気付くことはないでしょうか。共通することや、つながりを考えてみるといいかもしれませんね。では、まず、1人で3分考えて、学習帳に書いてください。その後、グループで3分話し合います。では、始めましょう。</p> <p>(3分経ったら)では、グループで気付いたことを話し合ってください。</p>	
9:30	<p>では、話し合ったことを発表してもらいます。</p>	→板書

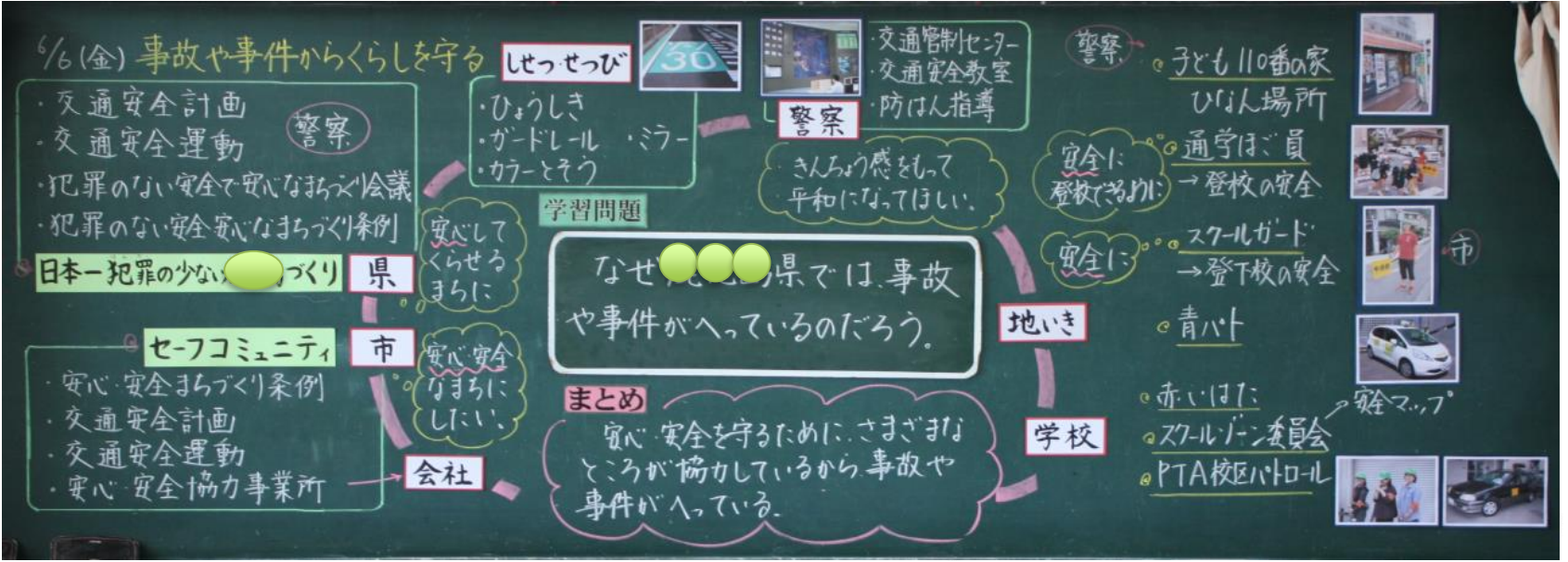
	<ul style="list-style-type: none"> ・つながり(協力) → 板書でつなげる。 ・気持ちのつながり → 安心・安全を守りたいという共通の思い 	(つなげる)
9:35	<p>では、今、出た意見をもとに、学習問題に対するまとめを書いてみましょう。(3分)</p> <p>では、発表してもらいます。(時間を見て、意図的指名もあり。)</p> <p>わたしたちのくらしの安心・安全を守るために、警察だけでなく、様々なところ、多くの人々が協力していることが分かりますね。</p>	
9:40	<p>実は、もう一つ、地域での活動として、こんな車で活動されている方々がいるんですが… →青パトだ!</p> <p>その通り。これは、青パトです。見たことあるかな?見たことがない人もいますね。実は、この前、活動の様子をビデオで撮ってきました。それから、この活動をされている方に、インタビューをしてきたので、それを見てください。</p> <p>どうでしたか?青パトで活動されている日高さん、72歳なんですけど、やはりみんなの安心・安全を守るために、一生懸命活動されているんですね。</p> <p>これだけ、いろいろなところが安心・安全のために様々な取組をされているから、みんなは何もしなくても、安全ですよ。 →(ちがう!) (間)</p>	<p>→青パト写真(掲示)</p> <p>→青パト動画</p>
9:45	<p>次の時間は、そのことを考えてみましょうね。 では、終わります。</p>	
<p>(青パト) → 地域の取組として出た場合は、写真と活動名(「青パト」)だけ示し、後半、「さっき、青パト隊のことが出たけど、実は、この前、活動の様子と、活動されている方にインタビューをしてきたので、その映像を見てください。」と言って、映像に振る。</p>		

板書計画

計画



実際



おわりに

- 学習指導案を作成して実施する授業
→他の先生方に見ていただく（意見交換する）
- 細案：単元計画まで含んだ学習指導案
（今回、説明したもの）
略案：本時案のみの学習指導案
- 作成する際の資料
学習指導要領、年間指導計画、書籍、インターネット上
→児童の実態に合った指導を

指導力の
向上

学び続ける教師

子供に寄り添う教師